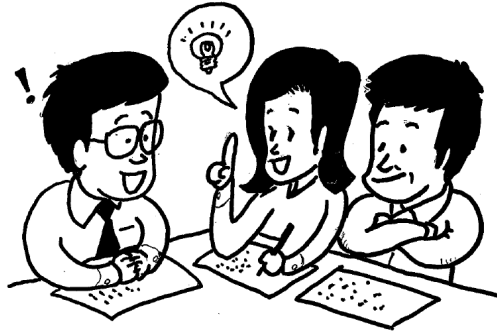


長崎県におけるコミュニティ・スクールの推進について



長崎県教育庁義務教育課義務教育班
参事 高鍋 洋

長崎県の全公立小・中学校には、学校支援会議がある。

学校支援会議

部会代表者による会議

会議体としての働き

地域コーディネーター 学校コーディネーター

地域部

自治会長
老人会長
民生委員
公民館長

学習支援部

サポート先生
まる付け先生
読み聞かせ

見守り部

登下校時
に見守っ
てくださる
地域住民

環境部

花作り
花壇整備
掲示物
清掃

課外活動部

放課後子ども
教室
土曜学習
社会体育
部活動

活動体としての働き

これからは

長崎県教育委員会は、**コミュニティ・スクール**を積極的に推進していきます。



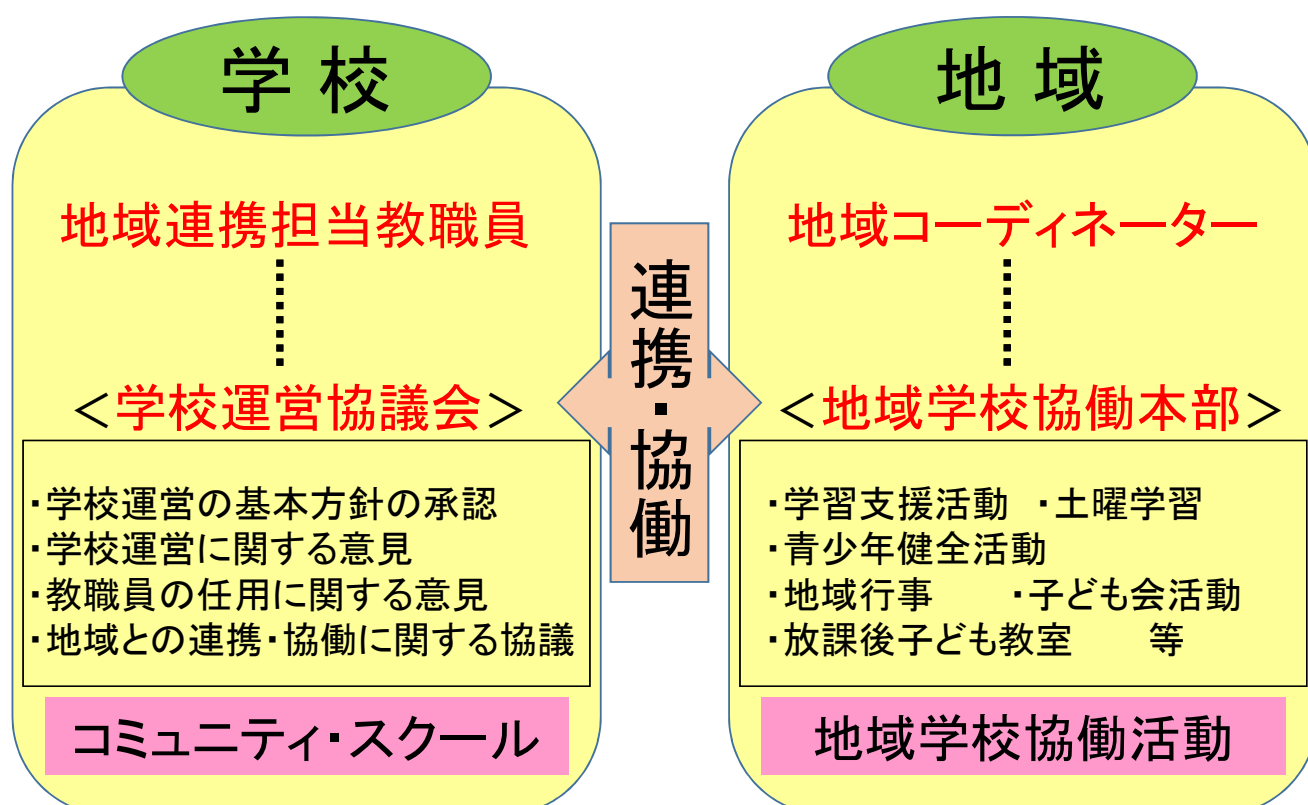
その背景には・・・、



- 学校教育に係る諸問題の深刻化、複雑化
- 学校支援会議の取組に対する各校の温度差
- 「教育改革」や「地方創生」等の動向

等々

学校と地域が目指すのは、「パートナーとしての連携・協働」です。



コミュニティ・スクール(C・S)推進の基本方針

- ①長崎っ子に「夢・憧れ・志」を育むことを目的とした教育環境の整備
- ②「学校支援会議」をベースとして、C・Sへ移行
- ③地域の教育力強化と学校の負担過剰の克服
- ④平成32年度には、全市町にC・Sの設置を

- 1 長崎っ子に「夢・憧れ・志」を育むことを目的に、学校と地域が連携・協働を図る体制を構築する。

夢やあこがれを抱く
長崎県の子どもをはぐくむために



平成21年6月

長崎県教育委員会

平成21～22年度

あこがれを志へ高める
長崎県の中学生を育てるために



平成23年3月

長崎県教育委員会

平成23～24年度

- 1 長崎っ子に「夢・憧れ・志」を育むことを目的に、
学校と地域が連携・協働を図る体制を構築する。

学校においては、一定の成果を上げた。



学校教育だけでなく、その土壌となる家庭、社会環境（地域環境）の整備を図る必要。

社会全体の大人によるかかわりこそが重要



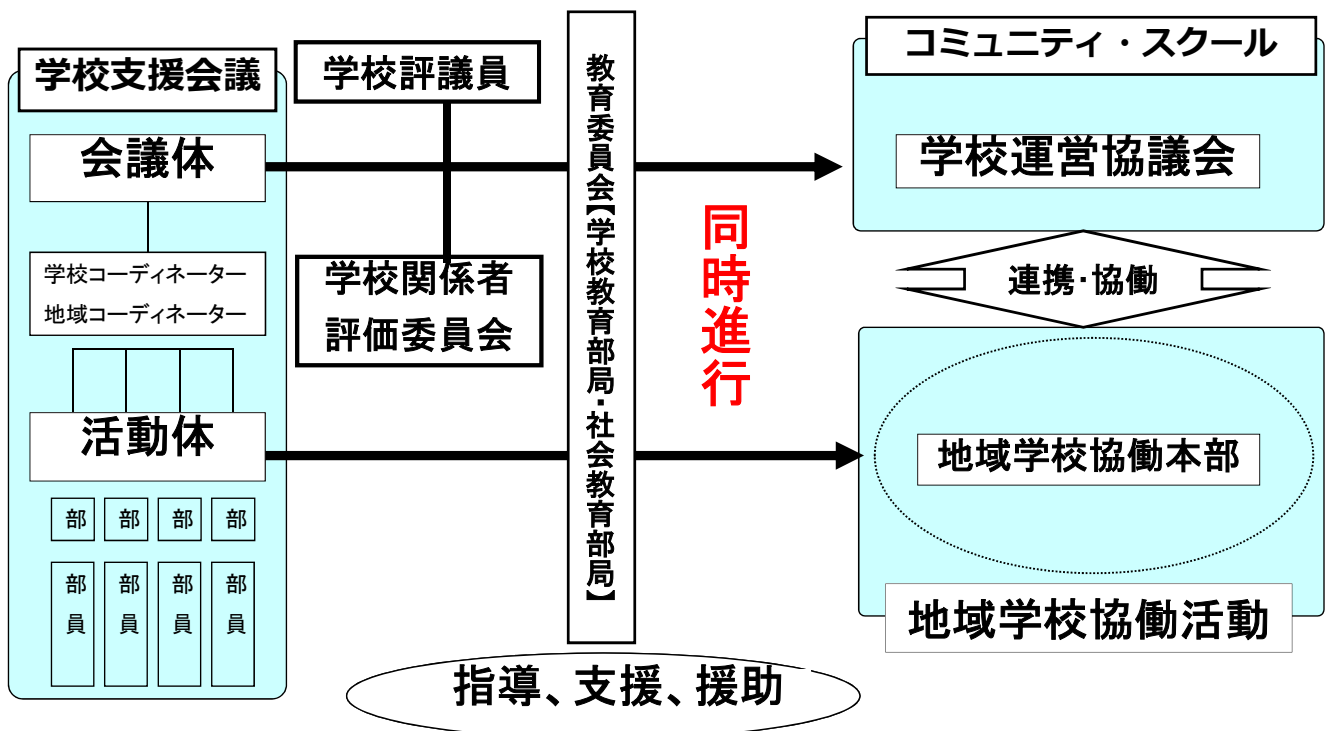
こども未来課、生涯学習課、義務教育課 三課連携事業

H26年度～

長崎っ子の「夢・憧れ・志」育成プロジェクト

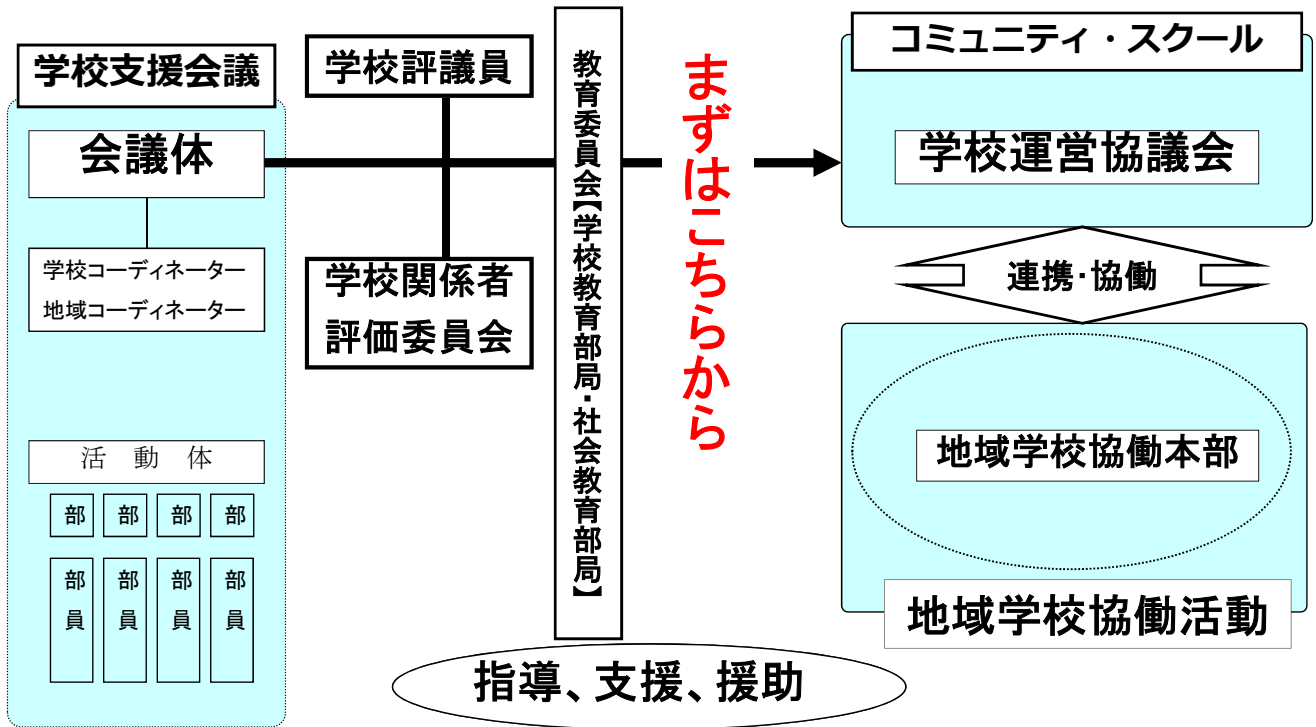
- 2 全学校区に設置してある「学校支援会議」がベースとなり、コミュニティ・スクールへ移行する。

学校支援会議の機能が充実している学校は・・・

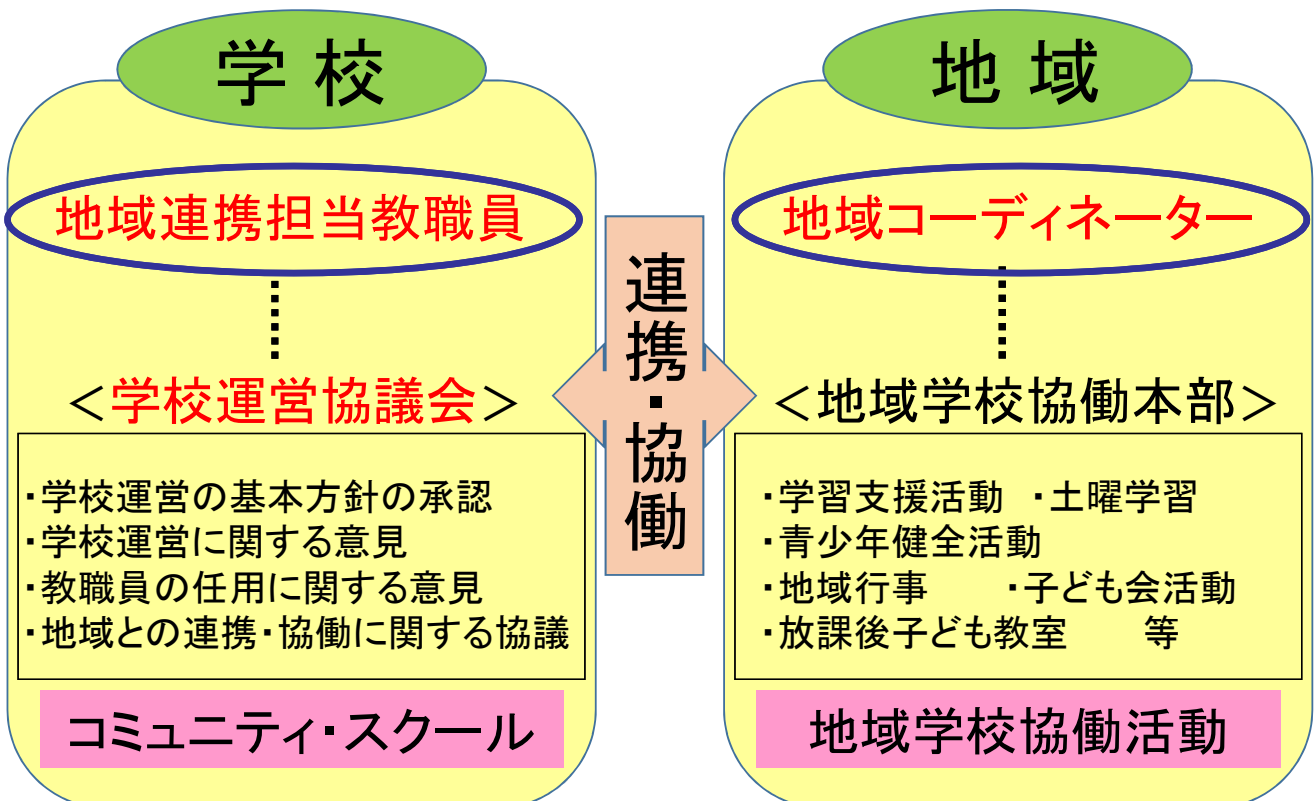


2 全学校区に設置してある「学校支援会議」がベースとなり、コミュニティ・スクールへ移行する。

学校支援会議に会議体としての働きはあるものの…



3 学校の負担過剰の克服と地域の教育力を確固たるものにし、地域総がかりの教育を推進。



4 平成32年度には、全市町に「コミュニティ・スクール」が設置されることを目指す。

今年度中に、「手引き」
の発行を！！

県

義務教育課 ————— 生涯学習課

市町

学校教育関係課 ————— 社会教育関係課

学校区

学 校 ————— 地 域

御不明な点、御心配な点については、
県教育庁義務教育課、生涯学習課 まで
お問い合わせください。

「地域とともにある学校」への転換

「子供も大人も学び合い育ち合う教育体制」構築

「学校を核とした地域づくり」の推進



力を合わせて進みましょう！！